

第5学年 社会科 学習指導案

日 時	平成23年1月20日(木) 第5校時
対 象	東京学芸大学附属大泉小学校 5年きく組 男子20名 女子22名 計42名
授業者	横尾 康幸

1. 小単元名 「わたしたちの国土(地形と気候)」

2. 小単元の目標

- 内容知 我が国の地形や気候の特色やそれに合わせた人々の暮らしがあることをつかむことができる。
(世界の人々も同じようにその土地の地形や気候の特色に合わせて暮らしをしている。)
- 方法知 地形や気候の特色をつかむ際、まずは家に着目し、そこから予想し調べていくことができる。
外国と日本、東京とその地域といったように、比較しながらその地域の特色を調べることができる。
- 自分知 人々がその地域の地形や気候に合わせて暮らし方を工夫していることから、優れた知恵に共感したり、その地域の人々の暮らし方を尊重したりすることができる。

3. 本小単元について

本小単元は、「わたしたちの暮らしと国土・環境」の中の一小単元である。ここでは、主に自然環境に目を向けて我が国の特色を理解し、国土に対して愛情を育てることを目標としている。

児童は、これまでの社会科学習で、学区域や練馬区(第3学年)、東京都(第4学年)において、自然環境の特色やそれに対応した人々の暮らしを学習してきており、特色の理解や人々との暮らしの関連性について積み上げてきている。本小単元は、その上に立って展開される学習である。

本小単元では、自然条件の特色を見ていく窓口として「家」に着目していきたいと考えた。なぜならば、日差しの強い地域では大きなひさしのある屋根、雪の多い地域では雪下ろしに適した屋根といったように、家の造りとその土地の自然条件とは密接な関係があるからである。まず一つの事例でその関連性に気付いた児童は、その見方をいかして、他の事例にも転用していくことが期待できると考える。

また、家の造りには、そこでくらししてきた人々の知恵が詰まっている。この知恵に気付くことで、児童はそこでくらす人々(そして、先人)に対し、その工夫に共感したり、くらし方を尊重したりする心情がもてると考えられる。この心情の育成が、最終的に本単元での目標である「国土に対する愛情」につながっていくものと考えられる。

一方、方法知に目を向けた際、ここでは統計資料の活用が大きなウエイトを占めると思われる。ただ、5年生の児童にとって統計資料は、なかなか実感をともなった理解をしにくいものでもあると言える。そこで、予想の練り上げをしっかりとした上で検証するために調べる、自分たちが生活している東京と比べる、具体物に置き換えられる物は置き換えて理解するなどの配慮をしながら学習を進めていくことによって、効果的な学習になっていくものと考えている。

4. 国際性を育むために

①外国と比較することで、我が国の特色をより明確につかむ。(多文化理解)

世界には様々な自然条件があり暮らしがある。児童の目を世界に広げることで、人々の多様な暮らしの工夫に気付かせることができる。一方で、暮らしの工夫には共通性もある。まずは、様々な社会的事象の中から共通性を見出せる力を養っていくことが、児童の多文化理解の力を育成していく上で重要なことであると考えられる。

一方、社会科ということに目を向けた時、教科の目標として、児童に我が国の様子をしっかりと理解させることが重要になる。

その際、我が国の社会的事象だけを見るより、無理のない範囲で、外国の社会的事象を見て、それとの共通点

や相違点に気付くことで、我が国の様子をより明確に理解することができると思う。これは、「甘い」ということを感じる時、一つの砂糖をなめているだけではなく、いろいろな種類の砂糖をなめてみる、また、時には甘くない物をなめてみることで、その甘さの特徴がよりはっきりわかるのと同じ論理である。

本小単元では、沖縄の自然条件を調べるに当たっては、ハワイの昔の家を通してハワイの自然条件を調べた上で、沖縄の昔の家を児童に提示し、比較をしながら調べていくように設定してみた。そうすることによって、沖縄は、温暖な気候に加え、台風が頻繁にやってきて大きな被害を与えることや、地形の関係で水不足に陥りやすい地形であることが児童によりわかりやすくとらえさせられるのではないかと考えた。

また、沖縄以外に新潟の自然条件を調べる際にも、これまでに調べたハワイや沖縄の家を土台にして調べていくように設定した。こうすることで児童のよりよい理解を図ろうと考えた。

②目的に合わせて資料を正しく活用し、調べたいことをしっかり調べることができる。(解決力・実践力)

児童の解決力・実践力育成を考えた時、社会科学習の特性を踏まえると、一つには、児童が、クラスのみならず個人と力を合わせたり、個人の力などで問題解決型の学習をたどる力を身に付けさせていくことができることが重要であると考え。そして、もう一つは、学習の目的に合わせて、自分が必要とする資料を見つけたり、それを正しく読み取って自分の学習に役立てたりする力、つまり「資料活用力」を確実に付けていくことが重要であると考え。

そこで、本小単元では、後者の「資料活用力」の育成を図っていきたいと考えている。

具体的な手立てとしては、児童の調べる目的意識を明確にするために、限られた時間の中ではあるが、予想の練り上げを十分に行うことを取り入れた。こうすることにより、児童は自分のねらいを意識しながら自分に必要な資料を探し調べるものと考え。また、調べる際には、身近なものと比較するということや、具体物に置き換えられる物は置き換えるとわかりやすいということに気付いていけるよう、指導上の配慮をしていきたいと考えている。

③その地域の人々の暮らし方に共感し尊重することができる。(思いやりとたくましさ)

思いやりとたくましさについて、社会科で担えるものは、最終的なものとしては、児童に「社会参画」の意識を育てることであると考えている。その前提として、まずは、児童に、自分のことだけでなく自分以外の人々に対して関心をもてることが大切であると考え。そして、そこから一歩進んで、人々の知恵や工夫、そして努力に共感し、尊重できる心情をもてることが大切であると考え。

本小単元では、様々な地域の人々の暮らしを扱う。ここでは、その地域の自然条件に合わせた家の造りはもちろんのこと、人々が自然条件（あるいは社会条件）をいかした産業を築き上げてきたことが学習内容として入ってくる。これらのことを児童につかませることによって、先ほど述べた、人々の知恵や工夫、そして努力に対する共感や尊重の心情が育てられるものと考え。このことも大事にしながら学習を展開していきたいと考えている。

5. 指導計画（10時間）

時	予想される主な児童の学習活動	指導上の留意点・評価（※）
1	<p>○自然条件と人々の暮らし方の関係を調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の人たちは、その土地の自然条件に合わせた暮らし方をしていることを家の写真からつかむ。 ・藁葺きの大きな屋根の家を見て、どのような自然条件の土地に建てられた家か予想する。 ・ハワイの自然条件を資料やそこに住んでいたゆり組児童の話から調べる。 ・ハワイの家の昔から今への移り変わりを調べて気付いたことを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・降水量、寒暖の差、家の材料となる自然物などに目をつけて調べさせ、人々の暮らし（家）はその土地の自然条件と大きな関係があることがつかめるようにしていく。 ・地球儀や世界地図でその土地の場所や日本との位置関係を確認させる。 ・ハワイの自然条件については、統計資料の他にハワイに住んでいた経験のあるゆり組児童やその保護者の経験談も通してつかませる。 ・ハワイの人々は、今ではアメリカ本土と変わらない家に住んでいることもおさえておく。

2	<p>○沖縄の自然条件を調べよう（本時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄の昔の家を見て、どのような自然条件なのか、ハワイの家と比較しながら予想をする。 ・資料から沖縄は、台風が多い、水不足に陥りやすい自然条件であることを調べる。 ・昔から今への家の移り変わりを調べて、昔の人の知恵が今にいかされていることをつかむ。 	<p>※ハワイの家と沖縄の家を比べ、共通点や相違点から沖縄の自然条件の特色が予想できているかを発言から見取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想したことを統計資料で確かめさせる。 ・ハワイの人々が今ではアメリカ本土と同じ家に住んでいるのに対し、沖縄の人々の多くは昔の人々の知恵をいかした家に住んでいることに気付かせる。
3 4	<p>○沖縄の人々のくらしを調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然条件をいかして、どのような産業がおこなわれていたり、食文化があったりするのかを資料で調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の「私たちのくらしと農業」の単元を想起させ、沖縄では、冬の暖かい気候をいかして、特色ある農産物を生産していることや、豊かな自然をいかして観光業に力を入れていることなどをつかませる。 <p>※資料を適切に活用して、調べたいことが明らかになっているかを発言やノートから見取る。</p>
5	<p>○新潟の自然条件を調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟の家を見て、どのような自然条件なのか、ハワイや沖縄の家と比較しながら予想をする。 ・資料から新潟は、雪が多く降る自然条件であることを調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハワイや沖縄と同様にまずは家の屋根に着目することでいろいろな予想が立てられることに気付かせる。 ・新潟の積雪量と同時に、屋根にどれぐらいの雪の重さがかかるかについてもつかませる。
6 7	<p>○新潟の人々のくらしを調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多く降る雪に合わせてどのような工夫や苦労があるのかを調べる。 ・自然条件をいかして、どのような産業がおこなわれていたり、食文化があったりするのかを資料で調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に傾斜のあるところで雪に見立てた重りを乗せたスコップを操作させ、新潟の人々にとって雪下ろしは重労働になっていることをつかませる。また、雪下ろしが不要な家の工夫を調べることで、人々の知恵に気付かせる。 ・雪が多く降ることで米作りが盛んなことや春が来る喜びが大きいことにも目が向くようにしていく。
8	<p>○野辺山原の人々のくらしを調べよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高地の涼しい自然条件を利用して、どのような特色のある産業をしているかを資料をもとに調べさせる。
9	<p>○白根の人々のくらしを調べよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・野辺山原と比較しながら白根の人々のくらしの特色を明らかにしていく。
10	<p>日本の地形や気候の特色をまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで調べてきたことから日本の地形や気候の特色をまとめ、クラスのみんなで「日本紹介マップ」を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本には地域によって様々な自然条件の特色があり、それに合わせた人々のくらし方があることに気付かせる。 ・児童に各自、テーマを役割分担させ、マップ作りを行う。

6. 本時の指導

(1) 目標

- ・ハワイと沖縄の家と比較しながら、沖縄の自然条件の特色を予想し、調べることができる。

(2) 展開

予想される主な児童の学習活動	指導上の留意点・評価（※）
<p>○ハワイの昔の家やチュニジアやセネガルの家を想起し人々は自然条件に合わせて暮らし方の工夫をしていることを確かめる。</p> <p>○沖縄の古い家の写真を見て、どこの地域の家か話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族で旅行した時に見たことがある。 ・屋根にシーサーがついてる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を提示し、簡潔に行う。 ・前の時間の見方をいかして、本時では、沖縄の古い家からどれだけ沖縄の自然条件が考えられるか、児童の考えを焦点化する。
<h3 style="border: 1px solid black; padding: 5px;">どうして沖縄の人々はこのような家を造ったのか</h3>	
<p>○ハワイと沖縄の昔の家を比較して気付いたことを話し合う。</p> <p>【共通点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらも平屋建てになっている。 ・屋根が大きくひさしのようになって、柱で支えられている。ハワイと同じように日差しを防いでいるのではないか。 <p>【相違点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハワイの家は藁葺きなのに対して、沖縄は瓦でできている。沖縄には台風がよく来ると聞いたことがあるからそれではないか。 ・家のまわりに塀や木がある。これも暑さよけ、風よけになっているのではないか。 ・屋根から樋がつながっていて瓶に水が溜まるようになっている。どうしてなのか。 <p>○資料で沖縄の自然条件を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科資料集や地図帳の統計資料で調べると、台風の被害が多いことや水不足になることがわかるよ。 ・台風がたくさん来るのに、なんで水不足になるのかなあ。 ・沖縄が水不足になるのは、地形と関係があるんだね。 <p>○今の沖縄の家の写真を見て気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔は重たい屋根で台風から家を守っていたけれど、今はコンクリートで守っている。そのため2階建ての家になっている。 ・今も水不足は続いているようだ。 ・ハワイは今では昔の面影がなくなってしまうているが、沖縄の家は昔とつながっているように見える。 <p>○本時のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに写真を提示し、その後、わかりやすいように家のイラストも用いて話し合う。 ・少人数で話し合う場も設け、一人一人が自分の意見が出せるようにする。 ・写真やイラストを見てわかることと、そこから考えられること（予想）を明確にして話し合いを進める。 ・沖縄に対しては、旅行に行ったことのある児童やあらかじめ興味・関心が高い児童がいる。これらの意見も交えて効果的に話し合いが進むようにしていく。 ・沖縄の自然条件を明らかにするに当たっては、ハワイや東京と比較しながら行っていく。 ※資料から沖縄の自然条件を調べられたか。 ・児童の必要に応じて、教師からも補助的な資料（統計資料やVTR）を提示する。 ・昔の人々の知恵が今にいかされていることに気付けるようにする。（ハワイの批判にならないよう配慮をする。） ・本時にわかったことを板書を使って簡潔にまとめた後、学習感想を書かせる。